



新入組合員を歓迎した「2018福保労フェスタ」



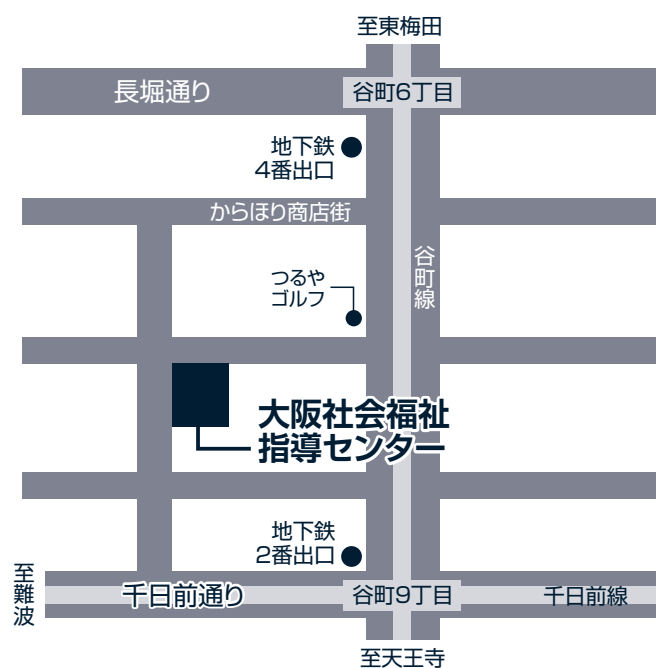
「3.15ストを含む全国いっせい行動」  
ランチタイムデモ終了後に大阪市役所前で

## 大阪社会福祉指導センター

〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54 TEL 06-6762-9471

アクセス

- 地下鉄谷町線「谷町6丁目」下車④番出口から徒歩5分
- 地下鉄長堀鶴見緑地線「谷町6丁目」下車④番出口から徒歩5分
- 地下鉄谷町線「谷町9丁目」下車②番出口から徒歩10分



保育あります

8月31日(金)までに  
大阪地方本部まで申し込みください

## もくじ

### 第1号議案 2018年度運動方針(案)

大会スローガン ..... 2

#### 第1章 2017年度の運動総括 ..... 2

- 1 平和を守り要求実現めざす  
3.15ストを含む全国いっせい行動 ..... 2
- 2 大幅人員増・賃上げ ..... 3
- 3 福祉解体を阻止し、国・府・自治体に対する  
福祉拡充をめざすたたかい ..... 5
- 4 平和を守る 改憲と戦争はさせない 政治革新 ..... 6
- 5 要求実現できる力をつける  
2,500人の地本実現めざすとりくみ ..... 6
- 6 労働者の権利侵害一掃をめざすとりくみ ..... 7

#### 第2章 私たちをとりまく情勢 ..... 8

- はじめに ..... 8
- 1 社会保障・社会福祉をめぐる情勢 ..... 8
  - 2 平和・民主主義をめぐる情勢 ..... 9
  - 3 横暴をきわめる財界・大企業 ..... 10
  - 4 大阪をめぐる情勢 ..... 11

#### 第3章 2018年度のとりくみ方針 ..... 12

- 1 運動の重点課題 ..... 12
- 2 具体的なとりくみ方針 ..... 13

全国福祉保育労働組合大阪地方本部  
2018年度

# 議案書

第72回

# 定期大会

2018年9月9日(日) 午前10時～午後4時30分  
大阪社会福祉指導センター 5階多目的ホール

ともしび

2018年8月7日／号外

全国福祉保育労働組合大阪地方本部

〒543-0055 大阪市天王寺区悲田院町8-12  
Tel 06-6773-8441 Fax 06-6773-8292  
Eメール: fukuho@ofhr.net  
ホームページ: http://www.ofhr.net



# 2018年度運動方針(案)

## 大会スローガン

- 安倍政権を退陣させ平和と憲法、民主主義を守ろう
- ストライキを背景に、大幅な人員増と賃上げをかちとろう
- 法令違反を許さず、労働者の権利と憲法を守ろう
- 選挙に行って、暮らしと福祉を守る国・自治体をつくろう
- 職場で過半数の組合を実現し、2,500人の大阪地本をめざそう

## 第1章

## 2017年度の運動総括

### 1 平和を守り要求実現めざす 3.15ストを含む全国いっせい行動

今期は、12.1全国いっせい行動、ストライキ権批准投票を経て、春闘期に3.15ストを含む全国いっせい行動にとりくみました。大幅人員増と憲法改悪阻止を掲げ、秋季年末期から運動を開始するという中央本部の提起を受け、平和と福祉・暮らしに関わる施策と予算が国会で審議される春闘期にかけて、たたかいをすすめました。

#### 【1】12.1全国いっせい行動

秋闘の諸課題と12.1全国いっせい行動の意義と具体化などを伝える分会へのオルグ活動で、16分会・班を回り情勢と課題を伝える中、とりくみの構えがつけられました。

12月1日には56分会・班でのべ600人以上が行動しました。大阪府に対し福祉職場の実態と要求を伝える府庁前宣伝や府議会議員への要請行動、夕方の

なんば宣伝、職場や地域での宣伝行動、職場集会・ワッペン行動・厚生労働省へのFAX要請などにとりくみました。

朝・昼・夕3回職場集会をもち全員の参加をつかった分会、当日行動できないため事前に憲法職場宣言の読みあわせをした分会、労使連名の憲法職場宣言とアピールを掲示した分会、未加入職員が職場集会に参加した分会など、忙しい中でも工夫して活動がひろがりました。

これらの行動を力に、12月22日に49人参加で大阪府交渉を持ち、年明けのたたかいへとつなげました。

#### 【2】スト権批准投票

2018年1月には、3月のストを含む全国いっせい行動に向けストライキ権を確立する批准投票を実施しました。

投票総数1,491票（投票率72%）、賛成1,270票（61.5%）、反対179票、無効42票となり、昨年の批准率60.4%を上回る61.5%の賛同を得てストライキ権を確立しました。

2年連続でストライキ権が確立したのは「何とかして今の福祉現場を改善したい」「社会に訴えたい」「国や自治体に要請したい」という組合員の決意の表れです。

ストライキ権の確立を受け、分会・班では要求討議をおこない、全国いっせい行動への理解をひろげるための経営者、保護者むけの説明や宣伝など準備がすすみました。

### ひとこと 要求

大阪市支部

●もっと保育士が増えるような賃金に！（ありんこ保育園分会 椿山由貴）●みんなの生活に笑顔、ゆとりを！子どもたちに未来を！！（どろんこ保育園分会 中林千佳）●憲法を守り、子どもたちに平和で幸せな社会を手渡そう（こぐま保育園分会 後藤せつみ）●職場全体のつながりを高められるような賃上げ！！（城東福祉会分会鶴見はとぼっば保育園班 吉岡とみえ）●保育士の処遇を上げ、もっと働きやすい制度に変える！（西淀川福祉会分会みどり保育園班 内田知也）●給料増えたら保育士増える。よりよい保育につながるぞ（新よどがわ分会木川第2保育園班 足立道生）●利用者みなさんが元気になる施設作りをめざします（大阪福祉事業財団分会すみれ共同作業所班 嘉幡

用語かいつ  
ベースアップ  
職場の賃金表（賃金カーブ）に基づいて、年齢や勤続年数に応じて定期的に賃金が増額していく定期昇給（定昇）に対し、賃金表を書きかえ、賃金の基準額を増額するのがベースアップである。福祉保育労が要求している賃上げは、定期昇給にとどまらない大幅なベースアップ。物価や社会保険料等の増額に見あつベースアップがなければ、生活は悪化する。

「とりくむからには市役所前での座り込み行動など、よりアピール性の高い行動も考えたい」「休暇を取って参加するのではなく、今回はストライキとして位置づけたい」とたたかう決意がひろがりました。

#### 【3】3.15スト含む全国いっせい行動

3.15ストを含む全国いっせい行動には、昨年度を上回る40分会89職場1,000人以上が行動に立ち上がりました。

前回より新たに19分会・班が行動に加わり、ストライキは、7分会22職場171人が決行し、新たに2分会がストをおこないました。

府庁前集会、デモ行進、中央行動、ランチタイム集会&デモ、大阪労連総決起集会、なんば宣伝、職場宣伝・職場集会、ワッペン行動、首相官邸・厚生労働大臣宛FAX、地域宣伝にとりくみました。

保護者から励ましや差し入れがあり、通りがかりの労働者がエールを送り署名を持ち帰ってくれるなど感動の経験がありました。「ワッペンを見て保護者が声をかけてくれ、背中を押してもらった」「どの時期も忙しいなか、行動ができて良かった」という分会、独自ビラを作成し保護者に訴えた分会、門前での横断幕掲示など大きくアピールできました。

また、当日の行動が無理でも、事前にアピール文や福祉宣言を読みあわせた分会、個別に声をかけ少人数で集まった分会、ビラ折りに参加してもらった分会など、みんなで行動する工夫がされました。未結集になりがちだった分会・班が再結集してきている姿もあり、いっせい行動をきっかけに支部活動が活性化したなど、全般的に今後につながる貴重な経験となりました。

## 2 大幅人員増・賃上げ

#### 【1】深刻な福祉現場の実態と改善

今期も9月の定期大会後に春闘期にむけ中央本部提起の2018年春闘アンケートにとりくみました。

大阪地本では組合員過半数という目標をかかげ、会議に給与明細を持ちより記入することなど提起しました。回収は556通となり、目標には達しません

### ひとこと 要求

大阪市支部

泰匡）●非常勤職員でも安心して暮らせる賃金にしたいです！（大阪福祉事業財団分会あさひ希望の里班 治郎丸悟）●小規模ケアになっても夜勤が多くて子どもたちと遊べない（大阪福祉事業財団分会くるみ乳児院班 小田文江）●国民の生活、社会保障向上のために税金の有効活用を！（大阪福祉事業財団分会豊里学園班 西川拓也）●子どもも大人も安心して生活できる日本に！（大阪福祉事業財団分会すみれ保育園班 大塚亜佑実）●働き続けたいと思える魅力ある組織・職場環境の実現を（大阪府社会福祉協議会分会 青木淳）●職員のことと身体の健康を守る職場環境の整備を！！（大阪聴覚障害者福祉会分会あいづ工房班 松中広大）●余りにも低い賃金で生活できない。



でしたが、昨年（352通）を上回る回答を得ました。集計結果では、あらためて「安い給料・休めない・責任は重い・仕事が多い・健康を害する疲労の蓄積」という緊急改善が必要な実態が明らかになりました。

冬季・夏季一時金要求はそれぞれ冬季（提出14分会・交渉4分会・最低1.4カ月～最高2.4カ月・平均1.97カ月）を要求、夏季（提出分会・交渉分会）でした。独自要求とあわせ粘り強く交渉を繰り返し、一時金支給されても妥結せずに交渉を継続し、通年闘争を形成している分会・班もあります。

統一要求は26分会（前年比6分会増）、独自要求は34分会（前年比10分会増）が提出しました。賃金要求では、ベースアップに加え各種の手当（年度末・通勤・研修・住宅）の増額や初任給の引き上げなど、賃金を少しでも改善したい切実な思いが要求にも、提出の増加にも表れました。

労働条件では、正規職員の増員、休憩保障、労働時間短縮、会議・実務・年間行事などの業務軽減、変形労働制による不規則勤務を改善し一日の労働時間を8時間に戻してほしいなど、法令が遵守され、安心して健康に働き続けるための条件整備への切迫した要求が出されました。



要求への回答は17分会・班、回答を受け団体交渉をおこなった分会は13分会・班でした。

交渉による改善・要求の前進としては、前年の倍額以上のベースアップ、年度末一時金・特別一時金支給、家賃手当増額や補助期限の撤廃、非正規職員の特別休暇保障、時給アップや昇給制度導入をかちとった分会がありました。

また、ベースアップでは「退職金算出の根拠となり、生涯にわたり影響がある賃金の『幹』の部分である基本給を太らすことにこだわり、常勤全員の



●無期雇用への転換

2012年8月に労働契約法が改正され、有期雇用契約について3つのルールが規定された。①無期労働契約への転換②雇止め無効の法定化③不合理な労働条件の格差の禁止。

法改正から5年目の今年4月から、労働契約の更新が通算5年を超えた労働者の申し込みにより無期労働契約に転換できるようになった。規定の適用を免れるための事前の雇止めや、有期契約が無期契約かで労働条件に不合理な格差をも

●福祉人材問題検討会

2007年当時の福祉職場の人手不足解消、処遇改善等の実現をめざして、総合社会福祉研究所、社会福祉施設経営者同友会、大阪保育運動連絡会、大阪障害者センター、障害者（児）を守る全大阪連絡協議会、きょうさん大阪支部、おおさかヘルパー労組連絡会、大阪医療労働組合連合会、(略)福祉保育労働組合大阪地本で結成。福祉人材問題や福祉制度改善などをテーマに、共同して学習交流集会や運動をすすめている。



子どもの命を守る集会「規制緩和で子ども命守れない」とデモ行進する保育関係者(2018・1・14)

4,800円ペアをかちとった」など、困難に見える賃金交渉を前進させた分会もありました。年間を通じて地道に要求を組織し交渉を継続している分会・班もあります。

分会の中には「統一要求が職場の実態にあわない」、「報酬が低いのに実現不可能」といった意見により、統一要求提出がすすまない実態があります。

しかし、交渉は独自要求中心となることが多いものの、統一要求にある賃金引上げを基本にすえ交渉している分会、統一要求への回答を説明させることにこだわった分会など、全国でとりくむ産別の統一要求を積極的に受け止め、経営の考えや立場を明確にさせる追及がなされました。

春闘期には今期も経営者むけに2018年2月14日に統一要求説明会を開催し、統一要求への理解と改善の努力を訴えました。経営者9人、組合は14人の参加でした。

また、福祉人材問題検討会での共同のとりくみとして、2017年9月に福祉人材における動向と課題について学習会を持ち36人が参加しました。福祉系の専門学校が定員割れし、存続すら危ぶまれる状況を共有し、低賃金と過重労働による悪循環を改善する必要を交流しました。

2018年3月には大阪府社会福祉協議会経営者協議会と懇談し、福祉人材確保・規制緩和・福祉の市場化について意見交換をおこないました。

【2】常勤換算方式撤廃、非正規雇用の正規化、最賃あげるとりくみ

国や大阪府に対し、介護・障害職場のワンオペレーション（一人体制）を非正規労働者に任せざるをえない状況の改善を求めました。また統一要求・分会独自要求で、非正規職員の処遇改善を求めてたたかいました。

2018年5月の厚生労働省交渉では、1人体制職場での深刻な事故の緊急防止策の必要性が訴えられました。また、現場が最低限の安全を守れない異常な実態は放置できないと訴えました。非正規でないと成り立たない報酬のしくみを強いておいて「全員常勤化すると運営に困る事業所があるのでは」という厚生労働省の無責任な回答に、参加者の怒りがひろ

がりました。実態を告発し、先延ばしさせずに改善を引き出す活動の強化が必要です。

また、5年以上契約更新している非正規労働者の「無期雇用への転換」を統一要求で求めました。状況の聞き取りや非正規部会による学習会の開催のほか、折に触れ大会などで無期雇用転換を周知し、活用と実態の交流を推進してきました。

引き続き、同一労働同一賃金を掲げ、国・自治体・経営者に福祉現場の非正規雇用の改善に着手させるたたかいが求められています。

法令違反の一掃と、災害・緊急時の対応ができないワンオペレーションをなくす要求運動を強化し、職員の複数配置を早期に実現させることが重要です。

【3】処遇改善交付金の上乗せ・改善と退職金公費助成

福祉職場の処遇改善要求の運動と国民の福祉要求が高まる中、介護・保育の担い手の確保・拡充を政府も認めざるをえない状況となりました。それが保育士・介護職員確保のための処遇改善交付金の上乗せ（介護：加算Ⅰ/保育：加算Ⅱ）をかちとる力となりました。

しかし、全員の低賃金解消となる根本改善ではないため、介護では取得に必要な事務作業の煩雑さや利用者負担の発生を理由に活用しない事業所が一定数ありました。

保育でも一定の時間の研修が必要で、副主任や現場リーダーなど一部の責任者に偏る「手当」となっており、巧妙に職場に競争と分断を持ち込み、安心して全面活用できない内容でした。矛盾はあっても支給させるべきではないか、平等に分配する方法はないかなど、様々な疑問や迷いがひろがりました。検討や懇談を重ね、課題を残しつつ妥結に至った分会もありました。

地本では、秋闘・春闘のたたかいの中で、処遇改善加算Ⅱの問題点と政府の狙いの共有、職場の団結を守る職場オルグでの学習活動をおこないました。こうしたとりくみが全国ですすむ中、2018年度からの保育の処遇改善費は前年より支給対象・人数が緩和される方向が示されました。

競争の成果への報奨ではなく、生活基盤としての

賃金を明確にし、基本給の引き上げを実現する処遇改善の構築と、生涯の生活を見通せる退職金制度の確立、格差と分断をなくす制度改善を求める運動を一層強める必要があります。

3 福祉解体を阻止し、国・府・自治体に対する福祉拡充をめざすたたかい

【1】国に向けたとりくみ

福祉職員の大幅増員と賃金引き上げを求める国会請願署名は、組合員一人25筆、地本全体で5万筆の目標でとりくみました。定期大会以後、12月と3月の全国いっせい行動と前後する秋闘・春闘で追求し、5月28日の中央行動までに8,091筆を提出しました（去年は8,688筆）。目標達成は6分会・班でした。

2回実施した全国いっせい行動では、地域・職場門前の宣伝で国署名がとりくまれ、駅前宣伝を初めてとりくんだ分会、複数の分会での共同宣伝など貴重な経験が生まれました。また、未組織職場に郵送した署名が6ヶ所から合計135筆返送されました。一方で、署名にとりくめなくなっている分会・班を励まし、働きかける課題も明らかとなりました。

2度の厚生労働省交渉には、2018年3月15日のストを含む全国いっせい行動で7人、2018年5月28日の中央行動では30人が参加し、現場の実態を訴えました。

また3月15日にさきがけ、福祉職場の実態告発運動が中央本部から提起され、大阪府交渉での訴えをもとに、7人の組合員が「とにかく人手不足です!」と切実な改善要求を綴った実態告発文を提出しました。



第89回メーデー 大幅な福祉職員の増員・賃金の引き上げを求める請願署名・宣伝行動(2018・5・1)

ひとこと 要求 大阪市支部

うに! (あゆみ保育園分会あゆみ東保育園 南中由佳) ●職員と子どもが生活しやすい保育環境を! (あゆみ保育園分会あゆみ保育園 南中智行) ●安心して働ける職場づくり (喜和保育事業会分会きのみむすび保育園班 山本初代) ●子どもたちの笑顔のためにも働きやすい職場を! (喜和保育事業会分会きのみ保育園班 山本友里) ●誰もが生き生きとやりがいを持って働き続けられる職場に (新よどがわ分会つくしんぼ保育園班 小川香) ●振替休日は1週間以内に、夏期休暇は夏に取れる職場に (日本ライトハウス分会 鶴見朝子)

ひとこと 要求 大阪市支部

人として暮らせる賃金を! (大阪市視覚障害者福祉協会分会 河内谷収) ●介護休業とりました。有史以来の労働組合に感謝! (大阪府視覚障害者福祉協会分会 樫玲子) ●子どもたちが二度と戦争に巻き込まれない国の存続を願う (大阪市社会福祉協議会分会 安藤美希) ●誠実でありたい (大阪聴力障害者協会分会 斉藤渡) ●誰もが笑顔で、安心安全な福祉の拡充を!! (大阪福祉事業財団分会すみれ乳児院班 橋岡ひかる) ●カジノより障害児・者に優しい街、大阪に! (大阪発達総合療育センター分会 小出裕美) ●みんなが安心して働ける職場をつくって! (西淀川福祉会分会よどっこ保育園班 杉本元樹) ●子どもたち・保護者・職員・地域の方々みんなが笑顔になるよ



●「三四労の会」

これからの経験をつみかさねた若年層と長い間活動を続けてきたベテラン層の間の30代40代の集まり。この中堅層の要求づくりと次代の労働組合を担う世代のつながり強化をめざしており、福祉保育労大阪地本としても、正式に結成をめざしている。また、福祉保育労だけではなく、他の産別を含み、大阪労連でも「三四労の会」が活動している。

●オルグ活動

英語のオルガナイズOrganizeの略である。大阪地本の執行部役員や支部役員などが分会・班の会議や集会に参加し、方針など決定事項を周知徹底し運動を促進すること。また、活動が停滞している分会・班に対して助言や援助することや、未組織職場で組合づくりを支援する活動のことをいう。

を位置づけさせるなど、経営の理解を引き出し、たたかいのなかで組合員を増やしてきました。新分班結成は、大阪福祉事業財団分会くるみ乳児院班とあおば福祉分会つぼみ保育園班が新しく誕生しました。

【2】組織強化

新春旗びらき(87人参加)と新入組合員歓迎企画の福保労フェスタ(144人参加)は、青年部が中心となり実行委員会を組織し推進しました。それぞれの企画では、支部・分会・班をつなぐとともに、日頃の枠を超えた交流がすすむよう工夫され、次世代の力とエネルギーが発揮されたとりくみとなりました。

パワーアップ学習会(51人参加)は、学習部・「三四労の会」が事務局となり、役員力の強化をめざしとりくみました。基礎学習と実践講座で、自分の職場の財務諸表・就業規則を取得する作業などから参加をつくり、充実したとりくみとなりました。

日常的な点検活動で分会・班の様子を聞き取り、職場と職場をつなぎ、情報提供や相談活動にとりくみました。機関紙「ともしび」や「福保労ニュース」に、とりくみのねらい・課題や様子、分会・班・支部・種別・専門部のとりくみや状況、予定を掲載し、情報提供と活動交流に努めました。

分会・班から労基法や処遇改善加算について学習の要望が寄せられ、オルグ活動をしながら要望に応じてきました。

また、地域の活動拠点としての支部の機能を高めるため、支部代表者会議の定着をめざしました。地域労連に結集し、独自に要請署名を提出し対市交渉・懇談や学習会などを継続している先進的なとりくみもありますが、様々な困難を抱える支部が多いのも現実です。支部活動の活性化をめざし、支部役員と地本のパイプを強化する、代表者会議の更なる充実が求められます。

種別協議会では、種別ごとの学習や交流などに加え、厚生労働省への要望・交渉、全国交流会の開催など、全国のとりくみと地本・職場をつなぎ活動しました。

障害職場の全国交流集会が11月に大阪での開催となり、障害協議会が現地実行委員会を立ち上げ成功に向け奮闘しました。とりくみの一環として、未組織職場への参加呼びかけを郵送でおこないました。

ひとこと  
要求

北摂支部

育園班 諸岡拓末) ●働き方法は廃止に!! 憲法9条は子どもたちにつなぐもの(穂積福祉分会分会ほづみ保育園 矢頭美砂子) ●子どもは国の宝! 子どもに優しい世の中に!! (くぬぎ分会分会佐井寺たんぽぽ保育園 秋元久美子) ●職員が元気に、希望を持って働き続けられる職場に!! (くぬぎ分会分会双葉保育園 生駒優実) ●こどもも大人も安心して過ごせる生活の保障を!! (あおば福祉分会分会おひさま保育園 千田篤) ●福祉をまもる私たち労働者の権利と生活を守りましょう(わかくさ福祉分会分会 岡庭信平) ●職員の人員不足の解消が必要。福祉の予算をふやして!! (どんぼ分会 冬頭賢一) ●働くすべての人が、生き生きと働き続けられるように!! (さつき福祉分会 中井有哉)



今福城東福祉分会 今福保育園にて  
組合説明会(2018.5.23)

4 平和を守る  
改憲と戦争はさせない 政治革新

【1】改憲阻止、安倍内閣退陣のたたかい

隠ぺい・改ざん・ねつ造の安倍内閣に9条改憲をさせない、国民大運動としての3000万署名を大阪地本として秋闘・春闘の活動の柱の一つにすえ、「平和こそ最大の福祉」を掲げてとりくみました。

地本全体では2万筆、組合員一人10筆の目標でとりくみ、6月22日現在で16,312筆となっています。6月22日現在で目標達成は23分会・班です。

身近な問題としてとらえにくい憲法署名をどうひろげるか、議論を重ねながらとりくみをすすめました。分会・班では暴走政治と危険な流れを止めるための行動がひろがっていました。学習を位置づけ確信をもってとりくみをすすめた経験や、自分たちの目標をやりきることにこだわり励みあって達成していた経験などが地本全体を励ましました。支部として地域宣伝にうってでた行動では、保護者や地域のこれまでのつながりの中での連帯がすすみ、活動のひろがりがありました。

2017年11月3日の9条改憲許さない大阪総がかり集会には25人が参加、2017年11月29日の秋の憲法大学習会(廣渡清吾氏講演)や、2018年1月28日の障害者関係9条・25条の会と福祉人材問題検討会共催の憲法学習会(講師:二宮厚美氏)に参加しました。2018年の5.3おおさか総がかり集会には10職場から28人、5月1日の扇町メーデーには15職場から33人が集まりました。各地域メーデーでも多くの組合員が参加し、平和と福祉をアピールしました。

また、憲法以外にも、辺野古新基地建設反対と米軍基地撤去要求運動、原発ゼロ・発再稼働反対 自然エネルギーへの転換と被災者支援などに、署名や集会案内・動員を通じてとりくんできました。

【2】自治体における政治革新のとりくみ

大阪の庶民の暮らしを根こそぎ荒らすカジノリゾートを万博と抱き合わせで狙い、弱者に鞭打つ大阪都構想を阻止するため、市民共同の集会・学習会へ

の参加を呼びかけ、大阪労連のとりくみに結集してきました。

2018年3月16日には、大阪市内支部と地本共催の学習会には12人が参加し、大阪都構想が職場と住民福祉に及ぼす危険な影響について学びました。また、市内支部・地本共同で、てんしば公園での宣伝にもとりくみ、福祉や暮らしへの影響についても訴え、市民との対話をすすめました。

2017年9月堺市長選挙がたたかわれました。地本では堺支部と共同で反維新の現職・竹山修身氏を支援し、竹山氏が厳しい選挙を勝ち抜きました。

気に入らない市民の声は敵視し攻撃を加え、効率と結果を振りかざして一方的な福祉切り捨てに偏る維新政治を持ち込ませないことをめざし、「堺はひとつ」に結集したたたかいました。たたかいの最終盤、福祉保育労堺支部の駅前宣伝に、竹山候補が予定を変更して立ち寄り、歌とコールでにぎやかに楽しく大宣伝をおこない、大いに勝利に貢献しました。

【3】「森友解散」・棄権防止活動の呼びかけ

昨年11月、安倍首相夫妻の「森友疑惑」が深まる中、唐突に衆議院の解散・総選挙がおこなわれました。投票率は過去2番目に低い53.68%。民意を切りすてる小選挙区制のもと、政権与党が3割得票で6割の議席を獲得する結果となりました。

大阪地本では、まともな政治を取り戻すため、棄権を防止し投票権の行使を呼びかけました。

5 要求実現できる力をつける  
2,500人の地本実現めざすとりくみ

【1】組織拡大

春闘期から新年度にわたり、職場での「組合を知る会」の開催を追求しました。組織拡大強化推進委員会が中心となり、加入促進の統一学習レジュメを作成し加入を促進しました。新規加入は 人(正規人・非正規人) 脱退 人 現勢 (月日現在)でした。

分会・班では3.15ストを含む全国いっせい行動や春闘交渉にとりくみながら、新人研修に組合説明会

ひとこと  
要求

北摂支部

●アベ内閣は総辞職を! 心底やめていただきたい(怒)(大阪福祉事業財団分会三島の郷班 和田佳樹) ●一人ひとりの子どもがよりよい生活をおくれるように!! (大阪福祉事業財団分ひろこだま保育園 濱名幸子) ●子どもたちの笑顔輝く社会へ実態に見合った処遇改善を (こばと分会分会こばと保育園 藪田咲子) ●大人もこどもも笑顔があふれる楽しい生活を (こばと分会分会さくらんぼ保育園 藤井隆也) ●平和と福祉が大切にされる世に。いきいきした人生を! (こばと分会分会いのこの里班 山村翔一郎) ●みんながいいきと働きつけられる職場に (こばと分会分会さくら保育園 川添由美) ●働く意欲が出る、保育現場の処遇改善、賃金アップを! (穂積福祉分会分会水尾保



●「我が事・丸ごと」  
地域共生社会

安倍政権があったに打ち出した地域社会政策。増大する生活や福祉問題を国・自治体の責任のもと解決するのではなく、住民相互の助け合いで解決する仕組みに再編する内容。

●自民党憲法改正  
「たたき台素案」

自民党は2018年3月、憲法改正をめぐり①自衛隊の明記（9条）②緊急事態条項（64条・73条）③参院選「合区」解消（47条・92条）④教育の充実（26条・89条）の4項目（7か条）に関する改憲条文素案を公表した。このうち9条・64条・73条・26条に関しては現行の条文に新たな条文を追加する形態だが、新しい追加条文は現行条文より優先適用されるため、海外での武力行使が可能になった自衛隊を明記すれば実質9条の1・2項は死文化することになる。



「軍事費削減で福祉にまわせ」「賃金引き上げ、職員増を」とモデー集会後のデモ行進に参加した組合員（2018・5・1）

●ICT

ICT（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）は、IT（インフォメーション・テクノロジー）の総称。特に公共サービスの分野において使われる用語。厚生労働省は介護・福祉の職員の処遇改善加算の要件に職場環境等改善の要件を規定し、その中にタブレット等の端末機を利用したICT活用による記録や職員の出勤情報管理等の事務負担の軽減や利用者情報の蓄積によるサービスの向上をあげている。

第2章

私たちをとりまく情勢

はじめに

安倍政権が発足して5年半、法人税の減税等大企業優遇と社会保障・社会福祉の削減、国民負担増の政策が強力に推進されました。大企業は史上最高のもうけを更新し、その一方で高齢者、障害者など社会的弱者の生活苦がいつそう深刻さを増しています。

また、「秘密保護法」、「安全保障関連法（戦争法）」、



「自衛隊は誰も殺さない、軍隊にしない」とプラカード掲げメーデーに参加する青年組合員（2018・5・1）

「共謀罪法」の強行と次々国民の権利を奪う悪法が成立しました。そして、「モリ・カケ疑惑」にみられるように、政治の私物化、公文書の改ざん、廃棄、隠ぺい等議会制民主主義の破壊がすすんでいます。

政権の信頼が大きく揺らいでいます。社会保障の改悪、増税により経済は深刻な行き詰まりにおちいり、打開策を示せない状態です。いよいよ安倍政権を退陣に追い込み、政治の転換を図ることが強く求められています。

1 社会保障・社会福祉をめぐる情勢

【1】深刻な人材不足が改善されない福祉の現場

私たちの福祉の現場の、低賃金と過酷な労働実態

の改善はすすんでいません。退職者の補充ができず人手不足が解消されないため、休憩も取れず、サービス残業が恒常化し、労基法違反が常態化しています。

抜本的な処遇改善を求める私たち関係者・国民の声に押され、政府は2017年度も処遇改善の施策を実施しました。しかし、保育職場では新たに設けられたキャリア加算により職場に分断が持ち込まれ、介護現場ではわずかな報酬引き上げのため、定期昇給に加算があてられる結果となりました。他産業平均との賃金の格差是正にはほど遠く、目に見える改善にはつながっていません。

そのため、職員が確保できず事業を開始できない事業所や、定員を下げた運営せざるを得ない事態が生じています。

しかし、政府は職場に混乱と分断をもちこむ特定の職員に対象を絞ったキャリア加算や外国人労働者の受け入れの拡大、ICTの活用による業務の「効率化」等、事態の打開にはつながらず、いつその福祉の市場化を推進する方向です。

これに対して、野党6党・会派は6月、保育士の給与月額5万円アップや介護職員の処遇改善を求める法案を提出し、成立をめざしています。こうした野党とも連携しながら安定した身分と賃金水準の抜本的な改善を求めるとりくみの強化が求められています。

【2】福祉を壊し、弱者を切り捨てる安倍政権

連続して社会保障・社会福祉の削減、国民負担引き上げをおしすすめる安倍政権は、実質引き下げである年金のすえおき、医療・介護の負担増をいつそう推しすすめています。その結果、高齢者、障害者など社会的弱者の生活苦が広がっています。さらに、生活保護費の削減を準備し、貧困層の生活破壊がねらわれています。これ以上の削減はいのちと健康を脅かすものです。まさに「福祉が人を殺す」事態といえます。

安倍政権は『「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現』を看板に、福祉を自己責任、地域の互助制度に再編しようとしています。しかし、福祉の自己責任化は、公的責任をこわし国民に責任転嫁し、新たな差別と分断を持ち込みます。規制緩和・営利企業

参入促進に反対し、公的責任を放棄せず、憲法に基づく生存権と権利保障のできる福祉拡充をめざすたたかひが必要です。国・自治体の責任のもと安心して福祉が受けられる制度の確立こそ緊急の課題です。

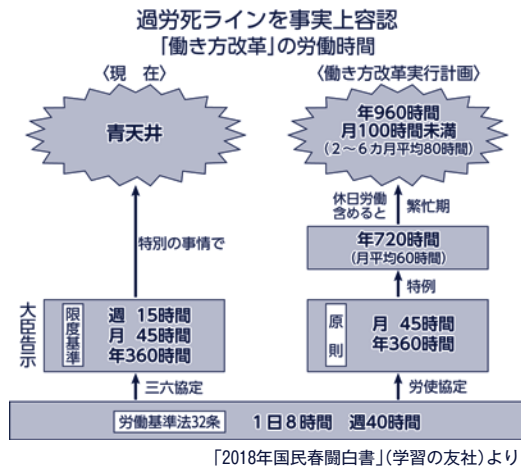
2 平和・民主主義をめぐる情勢

【1】「モリ・カケ」疑惑は国民主権の根幹にかかわる重大問題

国有地を8億円も値引きして売却した森友学園問題、官邸の特別な配慮による獣医学部の新設計可が疑われる加計学園問題と、いずれも安倍首相と夫人が関与し便宜をはかった疑惑がもたれる重大事件がおきました。さらに、その疑惑解明のための国会審議において、関係する公文書の改ざん、廃棄、隠ぺいが明らかになりました。首相の犯罪隠しのため、政権と政府機関が一体となって国会を欺いた、憲政史上類を見ない重大疑惑解明の攻防が国会でたたかわれています。

加えて、「働き方改革一括法案」の根拠となった調査データねつ造の疑惑や、提出を求められていたイラクや南スーダンへの自衛隊派遣に伴う「日報」の隠ぺいなど、「国権の最高機関」であり、「国の唯一の立法機関」である国会をないがしろにする事態が噴出しています。国の根幹を揺るがす民主主義蹂躪といえる深刻な事態です。しかも疑惑に関係する内閣府、財務省、国土交通省が、証拠の隠ぺいを図るために会計監査院や検察庁に圧力をかけていた疑惑まで浮上しています。

次々首相の便宜を裏付ける事実が明らかになる中、国民の不信は一層高まっています。私たちの力で国会を動かし、特別委員会を設け「モリ・カケ」疑惑の究明、一連の公文書の改ざん、隠ぺい、廃棄の問題、さらには政府関係者の国会での嘘の答弁等について徹底的にその責任を明らかにし、国民の疑惑を晴らし、国権の最高機関である国会の権威を回復することが重要です。



【2】強まる改憲策動と軍事一体化

（1）際限のない武力行使を容認する改憲案

自民党は3月憲法「改正」の「たたき台素案」をとりまとめ、今後衆参両院の憲法審査会で議論を深め、各党や有識者の意見も踏まえ、憲法改正の原案を策定し、憲法「改正」の発議をめざとしています。

そして、安倍首相自身、3月25日の自民党大会において「いよいよ、結党以来の課題である憲法改正にとりくむときがきた。自衛隊を明記し、違憲論争に終止符を打とう」と、9条改憲に異常な執念を示しています。とりまとめた「たたき台素案」は、9条の1項、2項の規程はそのままに「9条の2」を新設し、「…（略）必要な自衛の措置を妨げず、そのための実力組織として、法律の定めるところにより、…（略）自衛隊を保持する」と規定し、自衛権行使を名目に際限のない武力行使を容認する規程になっています。

（2）強まる日米軍事一体化

そもそも憲法「改正」をはじめとした日本の「戦争する国づくり」の背景には、軍事的な肩代わりを求めるアメリカの強い要望があります。アメリカは自国の権益を守るためにロシア、中国、中東諸国との軍事的対立を強めてきました。そうした中で、同盟国である日本に対しいつその軍事的貢献を求め

ひとこと  
要求

北摂支部

●賃金アップで働き続けられる職場に!!（あおば福祉会分会瀬川保育園 八木由香理）●子ども大人もみんなが平和で過ごせますように（あおば福祉会分会おひさま岡町保育園 伊藤桃子）●人員増でゆとりのある職員配置を!!（大阪聴覚障害者福祉会分会ほくほく班 山下節子）●若い人が未来を描ける魅力ある職場にしていきたい！（大阪福祉事業財団分会高槻温心寮班 宮内美幸）

ひとこと  
要求

北河内支部

●生きるパワーをくれるこどもたちの笑顔を大人たちで守ろう（たんぼ福祉会分会つくし保育園 藤井啓子）●すべての子どもたちに平和な未来を！（たんぼ福祉会分会たんぼ保育園 福井麻佐代）●こどももおとなも笑顔いっぱい社会を（まりも会分会なでこ保育園 高橋典子）●福祉労働者の労働条件向上に向けてがんばります（聖森会分会 酒井秀樹）●保育士の職員配置基準を引き上げて！人材確保を!!（むくの会分会 山口耕平）●子ども大人も安心できる社会保障をめざそう！（たんぼ福祉会分会津の辺保育園 古賀華子）●長く働き続けられる職場づくりを！（たんぼ福祉会分会枚方たんぼ保育園 津田奈緒子）



●近畿財務局

財務省の総合的な出先機関として、地域の財政・国有財産に関連する業務および地域経済の調査などを行う、同省の地方支分部局のひとつ。全国に9つの財務局と一つの財務支局が設置されている。近畿財務局は6府県を管轄する。

●働き方改革一括法

過労死を促進し、死んでも自己責任の「高度プロフェッショナル制」や「月100時間未満」という過労死容認の時間外労働の上限規制、均等待遇に逆行する同一労働・格差容認、生産性向上を口実にした労働強化・リストラ促進、労働者保護法からはずれる「雇用されない働き方」普及など、労働者のいのちと暮らしをこわす労働法制の大改悪の法律。

非正規部会学習会第7回総会  
(2018・11)



●安全保障関連法  
(戦争法)

安倍政権が2015年9月に、多くの国民の反対の声をおしきって成立させた憲法9条を骨抜きにする違憲の法律。憲法が否定する集団的自衛権の行使を認め、外国軍への軍事的支援をはじめ、武器や弾薬の提供など海外での幅広い武力行使を可能にした。

てきています。その具体的な表れとして在日米軍の再編と自衛隊の任務の強化が求められ、安全保障関連法（「戦争法」）の制定とそれにもとづく自衛隊の軍事的貢献がすすめられています。すでにこの間東アジアの警戒態勢の強化、米軍への燃料の補給、防護など憲法が禁止する軍事行動が展開されています。

【3】核兵器禁止・平和守れの世論と運動によって大きな変化が

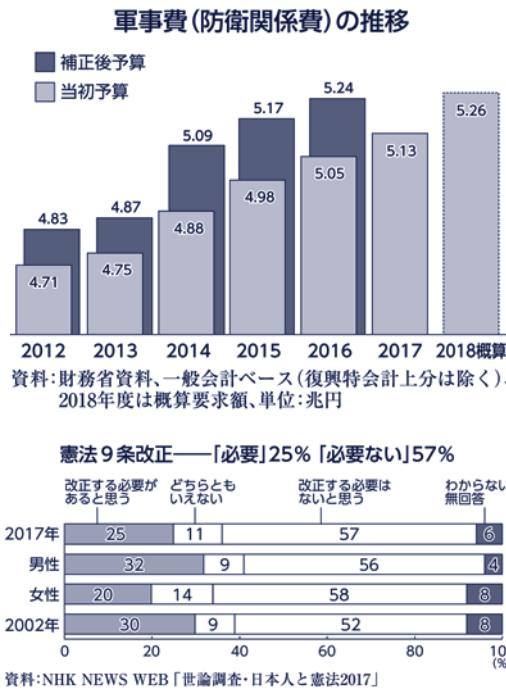
米朝の一触即発の軍事衝突の危機が進行し、平和的解決を求める当事国の世論や各国の動きが高まる中、4月の南北朝鮮の首脳会談をへて、6月に米朝首脳会談が開催されました。その結果、当面の危機は回避され朝鮮半島の非核化の実現と朝鮮戦争の終結、恒久的な平和構築の目標が合意されました。

朝鮮半島をめぐる画期的な動きは、国民世論にも大きな変化を生んでいます。たとえば核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書採択が、南北首脳会議の後に35自治体で上がっています。また、核兵器の禁止を求める国際世論も大きく広がり、禁止条約に59ヶ国が署名し、10ヶ国が批准しています。

こうした核兵器禁止の世論が広がる中、核保有国の妨害も強まっています。アメリカのトランプ政権は、「今軍縮をすると世界はより危険となる」と主張し、圧力を強めています。

日本政府は唯一の被爆国の政府でありながら、核兵器禁止条約に背をむけ、アメリカの核に頼る「核の傘」政策に固執しています。しかし、朝鮮半島の非核化、恒久的な平和の構築に向けて関係国が動き出しているいま、憲法の「改正」も沖縄の新基地建設も軍備の増強も根拠は失われています。

憲法9条をもつ政府として、被爆国の政府として今こそ非核化と平和の構築にむけてその役割を果たす時です。



3 横暴をきわめる財界・大企業

安倍政権の大企業優遇政治の後押しをうけ、大手企業は史上最高のもうけを更新しています。その背景には、①いっそうの法人税の引き下げ、②法を無視した過酷な労働の押しつけ、③「利益第一主義」にもとづく身勝手な企業活動があります。

その結果、労働者・国民には深刻な生活苦がひろがっています。

労働者には低賃金と不安定雇用、過労死を生む過酷な長時間労働が課せられています。

にもかかわらず、安倍政権によって戦後の労働法制の根幹ともいえる労働時間規制を骨抜きにする「働き方改革一括法案」が成立しました。今後さらに労働時間の規制緩和にむけて策動を強めていく姿勢です。

また、地元住民、多くの国民の不安と懸念をよそに、電力会社の利益を優先させ新たな「安全神話」ともいえる新規制基準のもと9基の原発が動き出しています。

さらに負担と責任を回避する財界の意向をうけ

て、国民には増税と社会保障の引き下げ・負担増が押しつけられています。今後、安倍政権は10%への増税と高齢者の医療費負担増等のさらなる社会保障の削減を準備しています。

大企業の身勝手なふるまいに労働者・国民からの反発がひろがっています。「働き方改革」の問題では、ナショナルセンターの枠を超えた反対運動がひろがり、原発問題では地元住民の反対の声により簡単に再稼働できない状況が生まれています。さらに4月から本格実施された非正規雇用の「無期転換ルール」への移行問題では、一方的な「雇止め」に対し、労働者の反撃が起こっています。

4 大阪をめぐる情勢

【1】森友問題にかかわる大阪府の責任は重大

森友学園の小学校設立にからんだ8億円もの国有地値引き問題で、その設立に手を貸したのが大阪府です。

そもそも森友学園は大阪府の学校の設置基準を満たしておらず、小学校の新設は不可能だったにもかかわらず、それを森友学園の要望通り設置のために認可基準を引き下げたのが松井知事です。

もともと籠池夫妻は松井知事の熱心な応援者であり、松井知事は問題発覚後、小学校用地にゴミなどが大量に埋まっているという森友側の主張について「森友側はうそをついてはいないと思いますよ」「近畿財務局の怠慢だ」と擁護していました。



改憲NO! おおさか総かり集会  
(2018・5・3)

公表された財務省の文書からも財務省、近畿財務局、大阪府が開設にあたって学園に便宜を図った疑惑がいよいよ深まっています。大阪府は疑惑解明に責任を果たすべきです。

【2】維新政治のもと、府民のくらしは悪化の一途

(1) 大阪府の状況

維新府政によって府独自の府民施策が削減され、府民のくらしの悪化と行政の立ち遅れがいよいよ顕著になっています。子どもの医療費助成制度は、他県で就学児童まで補助しているにもかかわらず、大阪府はいまだに就学前までしか補助の対象にしていません。

また、保育所の待機児童も前年度より減ったものの、それでも昨年4月の時点で、大阪府全体で1,190人に上っています。

国保料、介護保険料の負担も増大しています。国保料は大阪府が補助を半減させたため一人平均年額9万円の負担になっています。また介護保険料も平均年額7万9,000円を超え、沖縄に次ぐ全国で2番目の高額になっています。さらに福祉医療助成制度が改悪され障害者、高齢者の負担が引き上げられました。

その一方で維新府政は、大阪市と連携して大型公共事業、万博・カジノを含む統合リゾートの誘致に乗り出しています。すでに大阪市と共同でなにわ筋線の着工、淀川左岸線の延伸工事をすすめています。

6月18日に大阪北部地域を震源とする大きな地震が発生、人命が奪われ多くの家屋が被害を受けました。さらに7月にはこれまでにない豪雨が西日本に大きな被害をもたらし、大阪でも避難勧告が各地で出されました。府民のいのちと暮らしを守るために震災や災害に強い街づくりが求められています。しかし、維新府政のもと危険な河川の改修工事は先送りされ、高齢者の住宅改造補助や見守り訪問事業の補助も廃止されました。

(2) 大阪市の状況

住民施策の削減による影響は大阪市も深刻です。

ひとこと  
要求

堺支部

●みんなが毎日元気にたのしく働ける職場（ちぐさの森分会みんなの保育園 成田みちよ）●誰もがいきいきと自分らしく生活できる社会の実現を！（コスモス分会ほくぶ障害者作業所 中川育子）●保育士の給料を底上げしてください！（コスモス分会妻の子保育園 樽谷尚悟）●どこの国のどんな子どもたちも笑顔で過ごせますように（コスモス分会いづみ保育園 金子美音子）●利用者、職員みんなが笑って働き続けられる職場に！（コスモス分会おおはま障害者作業所 浅井麻土香）●労働者一人ひとりが生き活きと働き暮らせる世の中に！（コスモス分会ふれあいの里かたくら班 坂本圭）●明日も行きたい！と思える職場づくりを。残業問題解決（コスモス分会とうが

ひとこと  
要求

堺支部

障害者作業所 藤本りえ）●冷たい鉄屑に押しつけた介護より温もりのある介護を！（コスモス分会結の里班 東口忠史）●福祉職の低賃金改善に向けてとりくんでいきたい（コスモス分会せんぼく障害者作業所 井筒正基）●一人ひとりの幸せのために！平和な世の中をつくらう！（おおば福祉会分会おおぞら保育園 出水正太郎）●日本の福祉にこそ危機管理と防衛をしてくれ!!（おおば福祉会分会新金岡センター保育園 佐藤康広）●働きやすい職場（妻の会分会 谷積）●職場で1人ぼっちを作らないために職員を増やしてほしい（コスモス分会えと班 津田真一）●困っている人も安心して生活できる世の中に!! 職員増員！（コスモス分会つばさ保育園 二宮 桂子）





保育の待機児童が325人に上るほか、介護保険料は府内最高の月額7,927円（1,169円の引上げ）まで跳ね上がっています。また「民間でできるものは民間で」の掛け声のもと、4月からは市営地下鉄と市バスが民営化されました。今後採算重視で、安全軽視や不採算路線の廃止が懸念されます。また公立保育所の民営化も引き続きすすめられる方針です。

市が公約した民間病院の誘致が失敗したにもかかわらず、住民の多くの反対の声を無視して、住吉市民病院は3月末で廃院が強行されました。市は当面の措置として小児科、産婦人科の診療所を開設しましたが、誘致のめどは立っておらず、住民からは入院機能のない診療所の開設より「すぐに入院できる医療機関の開設」を求める声が上がっています。

### （3）大阪府内の状況

自治体の責任を投げ出し、住民サービスを切り捨てる維新政治をめぐって府内自治体でも引き続き維新陣営と市民との攻防が続いています。

堺市長選挙では現職の竹山修身氏が幅広い支持を得て維新候補を打ち破りました。また、今年おこなわれた豊中市長選挙においても反維新の候補が維新候補他を押さえて当選。さらに泉南市長選挙でも、前回維新候補を破った現職が再選されました。一方、岸和田市長選挙ではいったんは反維新の現職が当選したもの、不透明な政治資金の問題が発覚し、再選挙で敗れるといった結果になりました。

安倍政権によるくらし破壊の悪政のもと、住民の福祉と健康を守る地方政治の確立が急務といえます。

### （4）大阪都構想をめぐる問題

吉村大阪市長は、大阪市の市議会の委員会（大都市・税財政制度特別委員会）で、「恒久的に二重行政がなくなるような制度を構築する。そのために必要なのが都構想だ」と述べ、2度目の住民投票に意欲を示しています。

大阪維新の会は当初2018年秋の住民投票をめざしていましたが、具体的な制度案の議論が議会で煮詰まっていないと、松井知事が先送りを表明しました。来春に実施したい方針です。自民党や共産党な

ど野党からは、「すでに大阪都構想は2015年5月の住民投票で否決されて決着済み、税金と時間のムダ」と反対の声が上がっています。

大阪維新の会は、住民投票に反対する一部野党を引き込むため住民投票が否決された場合8区への合区を前提にした「総合区制度」に移行することを決める「基本議決」の採択をめざしています。「基本議決」は、現行の大阪市の存続という市民の願いを排除し、大阪市の廃止をめざす「住民投票」に導くものであり、認められるものではありません。大阪維新の会は住民投票の結果を重く受けとめ、大阪都構想を断念すべきです。

## 第3章

# 2018年度のとりくみ方針

## 1 運動の重点課題

### 【1】大幅な人員増と賃金引き上げのとりくみ

国に対して職員配置基準の改善を求めます。誰もが健康で働き続けられる職場づくりをすすめます。また、事業者に対して、法令が遵守され休憩・休暇がとれる働きやすい労働条件の実現、将来不安なく生活できる賃金体系の改善を求めます。

### 【2】福祉解体を阻止し、福祉・暮らしを守り改善するとりくみ

福祉の専門性、福祉労働とは何かを深め、政府の規制緩和や安易な安上がり福祉施策に反対し、暮らしを守る福祉の拡充を求めます。

### 【3】平和を守り憲法改悪を阻止するとりくみ

安倍政権がすすめる危険な憲法改悪の策動を明ら

かにし、学習を継続し、改憲阻止の運動を職場や地域ですすすめます。

### 【4】ストを含む全国いっせい行動のとりくみ

「福祉職員の大幅増員と処遇改善」「憲法改悪阻止」の要求を実現するため、ストライキを背景にした運動を引き続きすすめます。ストライキ権を確立させ、2019年春闘ではストを含む統一行動によるたたかいを推進します。

### 【5】組織拡大・強化のとりくみ

日常的な組合活動と要求闘争を基本にすえ、目に見える労働運動を職場や地域ですすすめます。また、雇用の安定と労働条件の改善をめざし、広く末組織労働者に組合活動の意義と役割を伝え、加入を呼びかけます。すべての職場で前年度を上回る組合員拡大をすすめ、2,500人大阪地本の実現をめざします。

### 【6】職場の民主化と争議支援のとりくみ

- （1）職場の要求闘争を強化します。対等な労使関係の確立と労使合意を原則にした職場運営をめざします。
- （2）すべての職場の争議をなくし、勝利をめざして支援をすすめます。

### 【7】国・自治体における政治革新のとりくみ

平和を脅かし福祉と暮らしを壊す安倍政権の退陣を求める運動をすすめます。また、暮らしと福祉を拡充する国政、地方政治の実現をめざし、2019年4月の統一地方選挙、2019年夏の参議院選挙、秋の大阪市長選と大阪府知事選のとりくみをすすめます。

## 2 具体的なとりくみ方針

### 【1】生活で働き続けられる賃金・労働条件の確立

- （1）職場からの要求闘争を強化し、働き続けられる労働条件の確立と不安定雇用をなくすための

要求をねりあげます。統一要求の討議をすすめ、確立させ、すべての職場でその実現をせまります。

- （2）働き続けられる職場をめざし、引き続き処遇改善の拡充を求めます。
- （3）2019年春闘アンケート過半数をめざし、すべての分会・班でとりくみます。
- （4）労働基準法違反の根絶をめざし、労働局交渉をおこない福祉現場の実態の改善を訴えます。
- （5）職場の働き方総点検活動にとりくみます。休憩・時間外労働の実態、年間総労働時間、36協定の中身など調査・把握していきます。
- （6）経営には労働時間管理を徹底させるとともに、労働時間の短縮、残業の解消、未払い残業の根絶を求めてたたかいます。
- （7）増員による法令遵守、週40時間労働、1日8時間労働の実現を法人に求めていきます。また、職場に労働安全衛生活動を定着させ、働き続けられる職場への第一歩にしていきます。
- （8）退職金支給の格差を是正し、退職手当共済制度の水準維持を求めます。また、国に保育職場の現行制度の維持、介護・障害職場の復活を求めます。また大阪府に介護・障害職場への独自の掛金の補助を求めます。
- （9）最低賃金に関する学習を深めて「全国一律最賃制度の創設を求める」署名運動を強化します。

### 【2】福祉解体を阻止し、福祉・暮らしを守り改善するとりくみ

#### （1）大阪府・各市町村へのとりくみ

- ①来年度予算に反映させるため、大阪府要求を早期に確立・提出し、早い段階での大阪府交渉の実施をめざします。
- ②署名のとりくみ  
イ、「（仮）福祉職員の大幅増員と賃金引き上げなどを求める要請書」の署名を5万筆目標でとりくみます。  
ロ、そのために署名推進パンフ（討議資料）を作成・活用し、署名の意義や目的を組合員のものにし、すべての職場で目標の達成をめざ



## ひとこと 要求

### 堺支部

●誰もが自分らしく生活できる最低限度の生活保障を！（コスモス分会えと班 山田 浩之）●保育士が働き続けられるような賃金UPを！！（上野芝陽だまり保育園分会 神谷亘）●シフト制で体調不良でも休みにくい。人を増やしてほしい。（コスモス分会そら班 阪本明子）●冬の一時金では、要求額に近い支給額を獲得するぞ！（ひまわり分会 藤田梨恵）●みんなが生きていきと働き続けられる職場に！！（ちぐさの森分会おおとり保育園班 西川知栄美）

## ひとこと 要求

### 阪南支部

●子どもたちに明るくやさしい未来を！！（めだか保育園分会 東口陽子）●仕事がんばった分だけ給料を上げてください（大阪福祉事業財団分会貝塚こすもすの里班 大久保悠太）●職員みんなが安心して、楽しく、長く働ける職場を！（大阪福祉事業財団分会せんごくの里班 道姓尚代）●職員一人ひとりの気持ちをもっとくみ取ってください（大阪聴覚障害者福祉分会なかまの里班 藤崎義人）





.....

- します。
- 八、職場や地域で署名宣伝行動をおこないます。また、SNSを活用するなど福祉現場の改善を求めるアピール方法を検討し具体化をめざします。
- 二、未組織職場への職場訪問をすすめます。
- ③9月10日に大阪府庁前宣伝行動を配置します。
- ④自治体への要請行動をおこないます。
- ⑤府的な共同行動を調整し推進します。
- ⑥大阪都構想反対・住民投票阻止のとりくみをすすめます。



大阪都構想反対てんしは宣伝  
(2018.3.3)

## （２）国へのとりくみ

- ①「大幅増員・賃金引き上げ」（仮称）国会請願署名を5万筆目標でとりくみます。
- ②働き続けられる職場と利用者が安心・安全に生活できる職場をめざし、賃金・労働条件の改善と人手不足の解消を求めます。また、職員配置基準を大幅に改善し、法令違反を根絶させます。
- ③すべての福祉職場を対象にした退職金公費助成制度の創設を求めます。
- ④規制緩和による人手不足の解消には反対します。営利目的の株式会社などの安易な企業参入はおこなわないよう求めます。

## 【３】平和を守り憲法改悪を阻止するとりくみ

- （１）引き続き、民主主義を壊し、憲法改悪をはじめ労働法制改悪など悪法を推進する安倍政権の退陣を求める運動をすすめます。憲法学習をおこない、職場や地域で3000万人署名の宣伝活動をおこないます。

ひとこと  
要求

河南支部

●保育士の人員増と給与UPを要求します（あおば福祉会分会みつばち保育園班 三嶋明希）●一人ひとりが働きやすい社会・職場を！（はびきの園分会 竹田直樹）●働き続けられるような給料と人員の確保を！（大阪福祉事業財団分会阿保くすの木保育園班 富永恵美子）●職員確保と人材育成を早急に課題と解決に向けて（大阪福祉事業財団分会高鷲学園班 中野友博）●働き方改革は労働者にとって天下の悪法！許せない！（コロニー事業団分会 渡鍋一也）●安心して暮らせる毎日を送りたいだけです（ごこせ福祉会分会 片上あゆみ）●介護職員の賃金アップ（大阪聴覚障害者福祉会分会あすくの里班 畑宏樹）



青年部粉もんパーティー  
(2018.5.19)

.....

- ⑦青年部、女性部、「三四労の会」の活動を活性化し、支えあい学びあえるように組合員の横のつながりをつくります。
- ⑧中央本部が提起する「福祉保育労の発展・強化をめざした組織・財政方針」の議論と具体化をすすめ、地域協議会にむけた討議をすすめます。また、関係組織との協議の場をもちます。
- ⑨総合社会福祉研究所と協力しながら、学習活動と日常的な研究・政策活動を強化していきます。雑誌「福祉のひろば」の活用と購読をひろげ、基礎講座などへの積極的な参加を呼びかけます。
- ⑩分会・班の地域労連への結集を強めます。

## （２）組織拡大

- ①当面1割増の組合員拡大をおこない、2,500人の大阪地本をめざします。
- ②すべての分会・班で前年度を上回る組織拡大（1人以上）をすすめるとともに、姉妹園など重点職場の組織拡大をおこないます。
- ③職場における影響力を大きくし、協定締結権を確保するため、すべての職場で過半数以上の組織化をめざします。
- ④非正規職員の賃金・労働条件改善の実現をすすめ、組合加入を働きかけます。また、支部や分会に非正規部会を確立し、活動を推進していきます。
- ⑤組合員の生活を支え助け合う福祉保育労共済の魅力を語り、組合加入とともに共済加入を積極的に呼びかけます。
- ⑥署名の働きかけなど未組織職場訪問を地本と支部が連携しおこないます。また、地域労連と連携し職場訪問にとりくみます。
- ⑦組合拡大のとりくみ経験を伝えるニュースを定期的に発行します。

## 【６】職場の民主化と争議支援のとりくみ

### （１）職場の民主化にむけたとりくみ

- ①すべての職場で対等な労使関係を構築してい

ひとこと  
要求

東部支部

●日本中に笑顔があふれる平和な社会を！（どんぐり福祉会分会どんぐり保育園班 高橋美香）●保護者も安心して、あずけられる保育園を！（鴻池ポッポ保育園分会 中上雄太）●給料UPで生活に潤いがほしいです！（信貴福祉会分会 大島和晃）●今こそ平和を守るとりくみに力を注ぎ、後世に伝えよう（ひびき福祉会分会 阿部勇）●処遇改善して給与上げて!!（どんぐり福祉会分会久宝寺保育園班 北有香理）

- ます。
- ②労働者の生活と権利を守るため、要求書を提出し、団体交渉で要求の実現をめざします。
- ③労働組合軽視の不誠実な団体交渉は許さず、要求に対する経営の説明責任を果たさせます。
- ④安易な不利益変更は認めず、労働組合との協議と合意のもとにおこなうよう求めます。

## （２）すべての職場から争議をなくすとりくみ

全国でたたかわれている争議への支援を強化します。また、大阪府内のすべての職場の労働者への権利侵害や労働組合への不当労働行為は許さず、一掃するためのたたかいの支援をすすめます。

## 【７】国・自治体における政治革新のとりくみ

### （１）知事選挙と市町村長選挙のとりくみ

- ①市町長選挙では、暮らしと地方自治を守る立場で私たちの要求実現のためにとりくみます。
- ②大阪府知事選・大阪市長選では暮らしと地方自治をこわす維新政治を阻止し、要求の前進をめざしてとりくみをすすめます。

### （２）参議院選挙と市町村議会選挙のとりくみ

- ①来年4月の市議会・町議会議員選挙や6月の参議院選挙は、福祉・暮らしにとって大きく関わる重要な選挙であることを訴え、「選挙にいこう」と呼びかけます。
- ②選挙の意義や争点を明らかにする学習資料を作成し、討議をすすめます。
- ③組合員の思想・信条の自由、政治活動の自由を守る立場からとりくみをすすめます。
- ④平和と憲法・暮らしを守る大切な選挙と位置づけて、組合員に積極的な参加を呼びかけます。